

NEWS

誰がいつ決めた

鷺沼駅前再開発

署名第一次集約分7637筆を市議会に提出

宮前区役所の存続と鷺沼再開発見直しを考える会（宮前区考える会）は25日、「鷺沼駅前再開発・タワマンの見直しと2つの図書館・市民館の設置を求める陳情」署名の第一次集約分7637筆を川崎市議会に提出しました。このうち、鷺沼再開発を考える会が集めた署名は791筆でした。署名提出には、鷺沼再開発を考える会も参加しました。

ひとつの区の問題にかかわる署名では、川崎市議会始まって以来もっとも多い数になったと、宮前区考える会は評価しています。

署名を受け付けた議会事務局によると、陳情の審議は、5月におこなわれるとのこと



議会事務局に署名提出

です。宮前区考える会は、引き続き3～5月にかけて1万署名の目標達成をめざして取り組みを強めることにしています。

鷺沼再開発を考える会も、宮前区考える会と協力して、目標実現に向けて取り組みます。

宮前区考える会が記者会見

署名提出に先立って、宮前区考える会は、川崎市庁

舎内で記者会見をおこないました。

記者会見は、その日に記者クラブに居合わせた記者3～4人が参加するのが普通ですが、この日は、「東京」「朝日」「神奈川新聞」「産経」「読売」「時事通信」「共同通信」「テレビ神奈川」にくわえて、タウンニュース社など8社10人以上の記者が参加。区役所移転・鷺沼再開発問題への関心の高さが伺えました。

小久保善一宮前区考える会代表が、陳情署名をとりくむなかで、①「区役所移転・鷺沼再開発に異議あり」の市民が多いこと、②7637筆の署名は宮前区では初めての大きな署名数になったこと、③補助金100億円と環境破壊のタワマンの見直し、2つの図書館・市民館の設置を会として強く求めること——について報告しました。

記者からは、「署名の期

間はどれくらい?」「緑の削減は問題。市もそれは問題視しているのでは? 同じ方向性なのか」「見直しに向けて市への期待は」などの質問が出されました。

「東京」神奈川テレビが報道

記者会見の内容は、「東京」が「再開発は景観破壊」の2段見出し50行の記事（下段）で、また、テレビ神奈川は夜9時のニュースで、「鷺沼駅前再開発 市民団体が見直し求める陳情書」のテロップ付きで報道しました。



No.1 2021年1月5日発行
鷺沼駅前再開発を考える会
連絡先 藤田 宏
☎090-6034-7686
【部内資料】

考える会がシンポジウムを呼びかけ

宮前区考える会は25日、川崎市まちづくり局に「宮前田園シンポジウム」開催の申入れをおこないました。

シンポジウムの目的は、コロナ危機における都市計画を考え、鷺沼駅前再開発・区役所存続にかかわる川崎市と鷺沼駅前再開発準備組合（東急）の3者が一堂に会して忌憚のない意見を出し合い、市民に参加してもらうなかで、市民参加のまちづくりの一助にしようというもの。

宮前区考える会は、川崎市とともに、東急側にも呼びかけてシンポジウムを実現したいとしています。

宮前区・考える会
運営委員会にご参加を
3月9日(火)午前10時～
市民館第4会議室

--	--	--	--	--